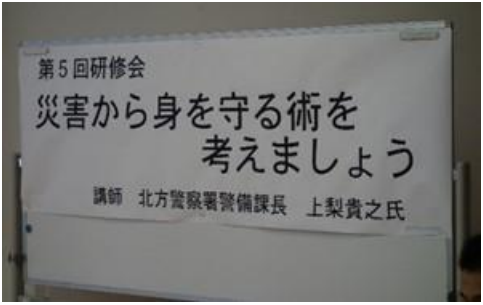
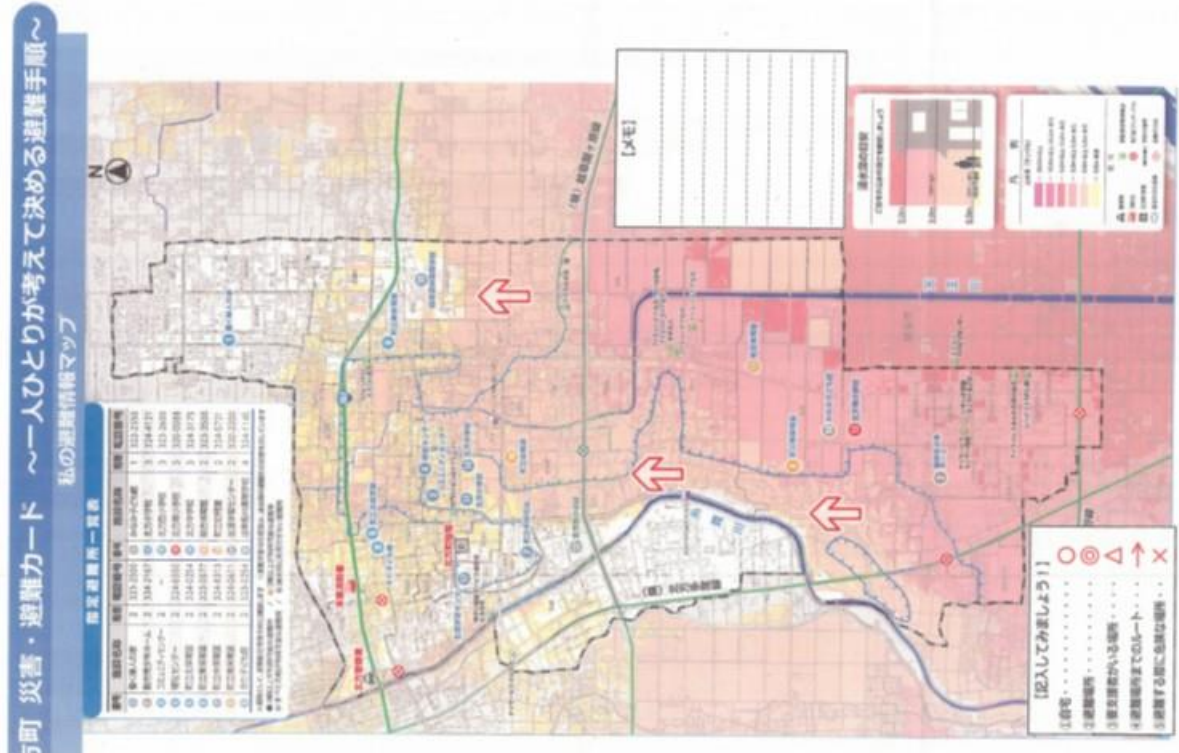


1人ひとりが避難の手順を決めるプロジェクト 事例集

【市町村名、地区名】北方町全域	
【名称】北方カワセミ大学研修会「災害から身を守る術を考えましょう」	
【日時】令和元年9月6日（金） 13:30～15:00（1時間30分）	
【場所】ホリモク生涯学習センターきらり	
【対象者】北方カワセミ大学（高齢者の生涯学習）の受講者	【人数】29名
<p>【取り組みのきっかけ】</p> <p>北方町では令和元年4月に洪水ハザードマップの更新を行い住民への周知を実施しているが、周知だけでなく住民がハザードマップを活用して避難を考えてもらえるよう取り組みを実施。特に避難に時間を要する高齢の方を対象とした。</p>	
	
<p>【実施までの運び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主催者 北方町教育委員会（北方カワセミ大学担当部署） ○活用した機会 町で毎年複数回実施している高齢者を対象とした生涯学習の機会を活用して開催。 ○周知・案内 町広報による案内、生涯学習の受講者へ手紙で案内。 ○事前準備 会場準備：説明用パワーポイント、ボールペン（人数分）、 配布資料：次第、北方町洪水ハザードマップ、 災害・避難カード（下書用A4判・清書用A3判）、 ※災害・避難カードは県様式をもとに北方町防災安全課にてアレンジして作成。 ○当日のスタッフ 8名（県警本部1名、北方署2名、町防災安全課2名、町教育委員会1名、県防災課2名） ○その他 ワークショップ終了後、地震を想定した避難訓練を実施。 	
<p>【実施内容】</p> <p>北方カワセミ大学の代表者、北方町副町長あいさつ（5分） 防災の講話（講師：北方警察署備課長）（15分） 災害・避難カードを作成するワークショップ（講師：岐阜県防災課）（65分） 避難訓練（5分）</p>	

【カードの様式】



私の避難タイミング				
気象情報	大雨に関する気象情報	注意報	警報(大雨・暴風・大雪・大雪・大雪)	警報
避難の進捗状況		注意	警戒	避難の発令(大雨・暴風・大雪)
警戒情報		注意	警戒	避難の発令(大雨・暴風・大雪)
避難情報		注意	警戒	避難の発令(大雨・暴風・大雪)
避難の進捗状況		注意	警戒	避難の発令(大雨・暴風・大雪)
避難の進捗状況		注意	警戒	避難の発令(大雨・暴風・大雪)

① 避難に必要な時間は？

A 安全な場所へは？

B 安全な場所まで片道何分(通常時)？

C 安全な場所まで片道何分(雨時)？

D 避難を決意してから車を出るまでに何分？

E 要支援者を支援するのに何分？

F 避難を決意してから安全な場所まで何分？

② 誰と避難する？

③ 何を持って避難する？

私のまちの危険情報を知るには？

<気象情報>

<避難の危険度分布>

<水位情報>

<避難情報>

2次元コードの読み取りができない場合は、こちらのアドレスから登録してください。

空メール送信アドレス hibiqa_info@ci-jp

パソコン用アドレス <https://service.suumai.com/hibiqa-chem/member/>

【取組みの状況】

○防災の講話（講師：北方警察署備課長）



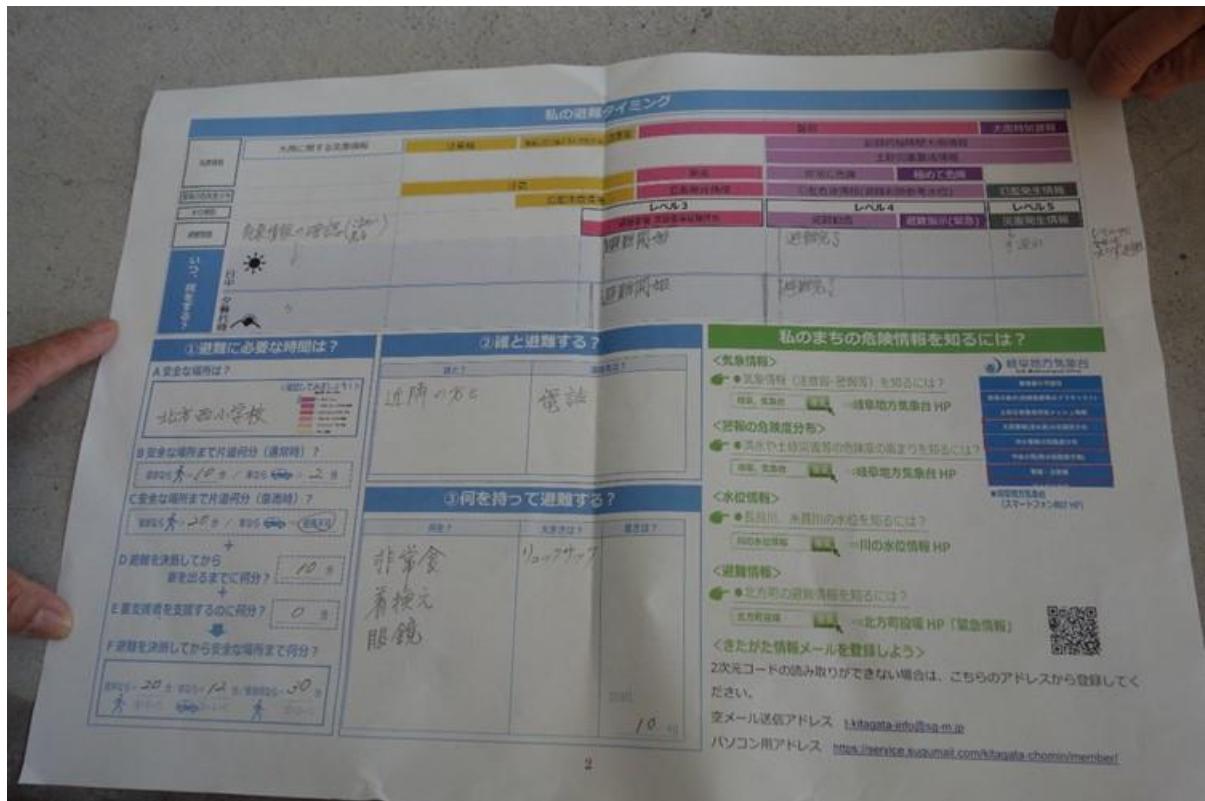
○安全な場所や避難のタイミングを決める参加者



○参加者には支援される方が多く、支援者が自宅につくまでの時間も考慮



○完成した災害・避難カード



○ワークショップ終了後の避難訓練の様子



【今後の展開】

高齢者サロン等に出向き、取組みを行う。また、自治会単位で更新したハザードマップの説明にあわせ、本取組みを実施する。